



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 長倉 統己

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部課長 (氏名) 高橋 英知

TEL 03-3239-3185

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,131	8.6	162		125		150	
2022年3月期第1四半期	3,804	46.8	72		69		85	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 133百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 83百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.30	
2022年3月期第1四半期	4.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	7,055	5,270	72.1	245.94
2022年3月期	7,626	5,445	69.2	255.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,083百万円 2022年3月期 5,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		2.00	2.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	8.8	480	138.3	480	124.4	380		18.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	24,087,009 株	2022年3月期	24,087,009 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,417,021 株	2022年3月期	3,416,891 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	20,670,065 株	2022年3月期1Q	20,670,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症への感染対策を踏まえた経済社会活動の正常化が進む中で、景気の持ち直しの動きはみられるものの、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格の上昇や供給面での制約及び金融資本市場の変動等による下振れリスクには、依然注意する必要があります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数(軽自動車含む)は、72万台(乗用のみ、貨物・バス等除く)となり、前年同期比14.4%減少となりました。中古車登録台数(軽自動車含む)は、128万台(乗用のみ、貨物・バス等除く)となり、前年同期比6.6%の減少となりました(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会)。

このような環境の中で当社グループは、カーチスの既存事業である「自動車流通事業」においては、『顧客ファースト』のスローガンのもとに、お客様と直接取引する「買取直販」を積極的に推進しております。インターネット媒体への掲載取組強化や価格の見直し等による展示車両の充実を図るとともに、保証やメンテナンスパッケージなど多様化するお客様のニーズに対応するサービスを強化し、付帯収益の向上に努めております。また、車検や保険などのアフターサービスの拡充により、お客様との継続的な取引の拡大を図っており、前年同期比で8.6%の増収となっております。また、長期在庫等の処分及び良質車両の仕入による仕入価格の上昇等による売上原価の増加により利益率が一時的に低下しているものの、業績向上に向けた各営業拠点の販売強化及び車両粗利の改善や、付帯商品・整備等サービスメニューの一層の充実を図っていることから、当第2四半期以降の収益改善を見込んでおります。

商用車関連におきましては、トラックなどの展示を各店舗に広げていくとともに、カーチス倶楽部会員や法人顧客を対象とした販売会を開催するなど、新たな顧客層との取引を拡大しております。

海外関連におきましては、国内中古車輸出企業との業務提携を強化することにより、輸出販路の拡大を進めており、海外向けの車両販売は前年同期65百万円から615百万円に増収となっております。中国に設立しました合弁会社である青島新馳汽車有限公司につきましては、新型コロナウイルス感染症の回復後の業績拡大に向けた体制整備を進めております。

「カーチスファンด์を活用したリースバック関連事業」においては、金融機関との提携、大手物流業者との連携等を図っております。また、カーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業の認知度向上も進んでいることから、現在、顧客開拓も順調に進んでおり、第2四半期以降の収益計上を見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、引き続き各科目の見直しによる経費削減を行っておりますが、新規事業や海外輸出関連に伴う事業構造の転換による売上拡大を図っており、人員採用などの戦略的投資により一過性の減益となっているものの、年度内には改善する見込みであり、2023年3月期の連結業績予想においては、期初の見込み通りの進捗状況となっております。

以上の結果、売上高は4,131百万円(前年同期比8.6%増)となり、営業損失162百万円(前年同期は営業損失72百万円)、経常損失125百万円(前年同期は経常損失69百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,055百万円となり、前連結会計年度末と比べ、571百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、現金及び預金の増加547百万円、売掛金の減少794百万円、商品の減少401百万円などによるものであります。

負債合計は1,784百万円となり、前連結会計年度末と比べ、396百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、買掛金の減少533百万円、契約負債の増加50百万円などによるものであります。

純資産は5,270百万円となり、前連結会計年度末と比べ、174百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金の減少192百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は72.1%(前連結会計年度は69.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,613	2,743,775
売掛金	1,521,039	726,260
商品	2,163,667	1,762,370
貯蔵品	502	564
その他	273,890	321,239
貸倒引当金	△541	△541
流動資産合計	6,155,172	5,553,669
固定資産		
有形固定資産	992,638	978,167
無形固定資産	68,559	110,891
投資その他の資産		
投資有価証券	58,898	61,478
差入敷金保証金	345,135	345,152
破産更生債権等	1,379	1,349
その他	16,004	16,004
貸倒引当金	△11,354	△11,314
投資その他の資産合計	410,063	412,670
固定資産合計	1,471,260	1,501,728
資産合計	7,626,432	7,055,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	721,252	188,025
短期借入金	560,000	560,000
未払金	213,701	235,811
未払法人税等	22,905	10,430
契約負債	226,958	277,583
その他	147,357	232,986
流動負債合計	1,892,174	1,504,838
固定負債		
預り保証金	10,875	8,275
リース債務	95,776	89,296
繰延税金負債	10,061	9,700
資産除去債務	169,529	169,874
その他	2,466	2,852
固定負債合計	288,709	279,998
負債合計	2,180,884	1,784,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	846,636
利益剰余金	2,694,904	2,502,140
自己株式	△1,089,734	△1,089,763
株主資本合計	5,267,840	5,075,048
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,893	8,466
その他の包括利益累計額合計	5,893	8,466
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	169,103	184,335
純資産合計	5,445,548	5,270,560
負債純資産合計	7,626,432	7,055,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,804,623	4,131,491
売上原価	3,063,146	3,519,477
売上総利益	741,477	612,014
販売費及び一般管理費	813,690	774,295
営業損失(△)	△72,213	△162,281
営業外収益		
受取利息	448	260
受取配当金	1,128	1,203
受取保証料	575	281
金利スワップ評価益	74	—
為替差益	—	30,806
持分法による投資利益	—	7
雑収入	3,798	5,041
営業外収益合計	6,024	37,600
営業外費用		
支払利息	284	602
支払保証料	1,788	308
為替差損	33	—
持分法による投資損失	86	—
雑損失	936	107
営業外費用合計	3,129	1,017
経常損失(△)	△69,318	△125,698
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△69,318	△125,698
法人税、住民税及び事業税	10,779	10,402
法人税等調整額	3,410	△361
法人税等合計	14,189	10,041
四半期純損失(△)	△83,508	△135,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,894	15,232
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,403	△150,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△83,508	△135,739
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	2,572
その他の包括利益合計	—	2,572
四半期包括利益	△83,508	△133,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,403	△148,398
非支配株主に係る四半期包括利益	1,894	15,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期 連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,131,491	—	4,131,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,131,491	—	4,131,491
セグメント損失(△)	△161,195	△1,086	△162,281

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第4四半期連結会計期間において、新たな事業である特別目的会社を活用したリースバック事業を展開しており、前連結会計年度より新たに「リースバック関連事業」セグメントを追加しております。これに伴い、より実態に即した名称にするため、従来の「自動車関連事業」から「自動車流通事業」へセグメント名称を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、「リースバック関連事業」が前第4四半期連結会計期間より開始されたことから、開示を行っておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。